

総務省

情報通信技術で地域活性化

15年度予算 世界最高レベル実現へ  
概算要求

総務省は「新たなイノベーションを創出するICT成長戦略の推進」を2015年度重点施策の一つとして掲げ、15年度概算要求にICT(情報通信技術)による地域活性化などによる地域活性化などに739億8000万円を盛り込んだ。20年東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据えた「世界最高レベルのICT基盤の実現」には427億8000万円、「ビッグデータ・オープンデータの活用」には31億5000万円を要求した。

同省は、農業・林業・医療・防災・教育・交通などの分野でICTの活用を進め、地域の抱える課題の解決や地域経済の活性化に役立てたい考え。

農業分野では、高い生産性を有する熟練農家の知恵の共有・活用ICTを活用するスマートアグリを推進し、生産性向上と高付加価値化につなげる。林業分野については、林野庁と連携してリモートセンサーや森林クラウドを活用し、木質資源や森林データが多様な高度利用を

医療・介護は超高齢社会がもたらす課題の解決にもICTの活用を進める。教育は学校と家庭、民間教育提供者がシームレスにつながり、いつでもどこでも学習できる環境を創出する。

地域のICT基盤(ブロードバンド・モバイル・WiFi)に56億5000万円を

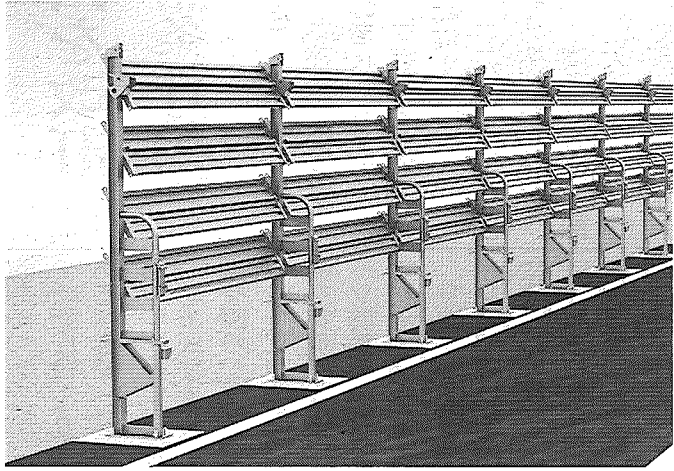
高輝度SMD使用防雪柵開発

＝理研興業＝

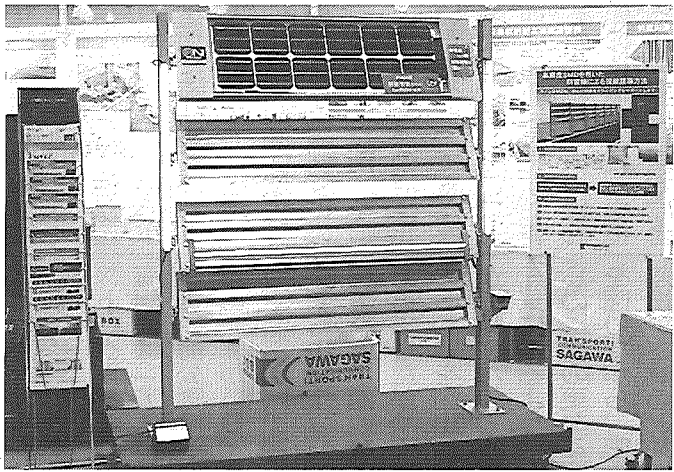
視線誘導で交通安全サポート

防雪柵メーカーの理研興業(本社:北海道小樽市・柴尾耕三社長)は、この度「高輝度SMDを用いた防雪柵による視線誘導方法」を開発した。

防雪柵を通して長年培った技術と実績を活かして、今回開発した技術は、防雪柵に高輝度SMDを用いたライン状



【設置イメージ】



【展示用模型】

用し、雪国の交通安全をサポートできる新たな視線誘導方法を提案する。

近年、降雪地域での多重衝突事故が多く起きており、特に都市近郊部における都市型事故が増えているが、これは、ホワイトアウトと言われる特有の視程障害が原因と考えられ、まったく前が見えない状況下ではドライバーの視界が遮断されることで周囲の状況や位置認識が出来なくなることが事故を招いている。

今回開発した技術は、防雪柵に高輝度SMDを用いたライン状に発光した光の連続照

明による視線誘導方法であり、このような視程障害が発生している状況下において、視界からのライン光でドライバーを安全に誘導し、安心感を与えサポートすることを目的としている。

高輝度SMDは、一般的なLEDと比べ発光効率、照射角度とも大きく、これを防雪柵に取り付けることで道路線形に沿った視線誘導が可能となる。

高輝度SMDは、LEDと同じ原理で発光するが消費電力は同等であり、発光効率がLED(砲弾型)の70倍、照射角度が10m/Wに対して100m/W、照射角度も70度に対して120度と大きいのが特徴。同時に赤外線センサーを用いることで気象条件に伴って視程障害の状況を発光と発光色の変化によりドライバーへ情報提供する。また、高輝度SMDの取り付けは専用器具により、新設だけでなく既存の防雪柵への設置も可能である。

この効果は、理研興業が所有する風洞実験装置にて高輝度SMDの視認性実験と赤外線センサーによる感知実験で確認済みであり、屋外での試験柵を使用した視認性実験において良好な結果を得てお

り、フィールドによる実証実験の検証を進めている。

開発者は「冬期のホワイトアウト対策だけではなく、ライン光での視線誘導は濃霧などの状況下でも効果的であると考へており、ドライバーへ状況認識をさせることと安心感を与えることは安全性を向上させることに、これからの高齢化社会に向けても交通安全を担う貢献できる技術と考へている」と語っている。

なお、この技術は、既に今年2月に行われた公益社団法人土木学会北海道支部の技術研究発表会にて論文発表しているもので、6月4日と5日に宮城県にて開催された今年の「E東北」に出展した際には、模型を使用したデモンストラーションとプレゼンテーションを実施し好評を博している。今後は、8月に実験場(北海道江別市)での発煙実験と今年度の冬期には本格的なフィールド実験(北海道石狩市)を踏まえた実際の設置を行う予定を進めており、交通事故の減少と交通安全向上に寄与するため、来年度には技術の普及を積極的に行う方針で考へている。

公有財産最適利用

＝総務省ら3省＝

自治体課長に通知

総務省は20日、自治体局財務調査課長名で「国と地方公共団体等総合管理計画」の策定を地方自治体に指示していることを踏まえて、計画の策定に当たっては国有財産の最適利用についても国と連携して検討するよう求めた。

また、財務省と国土交通省は、同省理財局国有財産企画課長と同省大臣官房官庁官繕部

と合同で構成する協議会を設置、無料公衆無線LANの整備などを促進する。

多言語音声翻訳システムの実装に向け、国家戦略特区の病院や商業施設などを活用していく。同省は観

要求。訪日外国人が世界最高水準のICTを「サクサク」利用できる環境の実現を目指す「SQ2 JAPAN Project」も推進していく。同省は観

と合同で構成する協議会を設置、無料公衆無線LANの整備などを促進する。

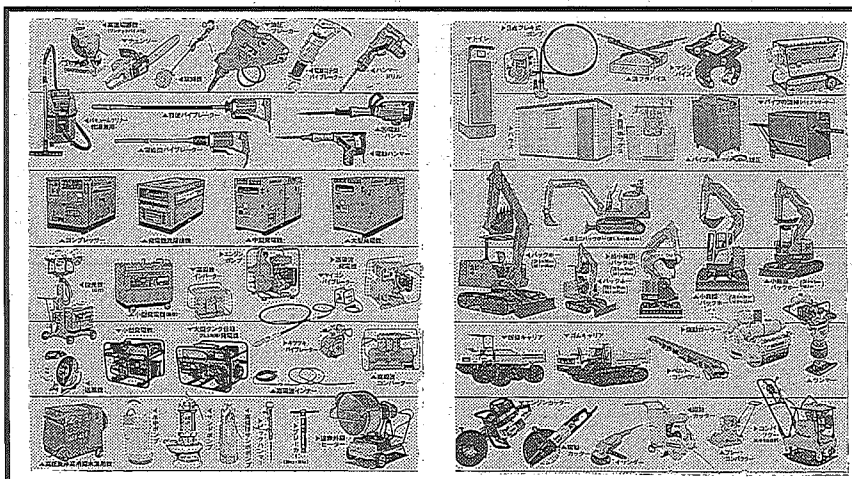
多言語音声翻訳システムの実装に向け、国家戦略特区の病院や商業施設などを活用していく。同省は観

定を地方自治体に指示していることを踏まえて、計画の策定に当たっては国有財産の最適利用についても国と連携して検討するよう求めた。

また、財務省と国土交通省は、同省理財局国有財産企画課長と同省大臣官房官庁官繕部

計画課長の連名で、各省各庁の国有財産総括部局担当課長と官繕担当課長に充てて総務省と同様の文書を出し、国と地方公共団体が連携して国有財産の最適利用を図るよう促した。

政府は、6月24日に閣議決定した「経済財政運営と改革の基本方針2014」で「地方における公的施設について、国と地方公共団体が連携し国有財産の最適利用を図る」とつたこと



建設機材からトイレ・ハウスまで  
**リース&レンタル/販売**  
価格は柔軟に!! ※年中、中古機の販売致しております。御用命は黒石店・弘前店へ  
**(株)ホクエイ東北**  
黒石店/黒石市追子野木2丁目244 ☎(0172)53-5122(代表)  
弘前店/弘前市大字堀越字川合109-1 ☎(0172)26-3822(代表)